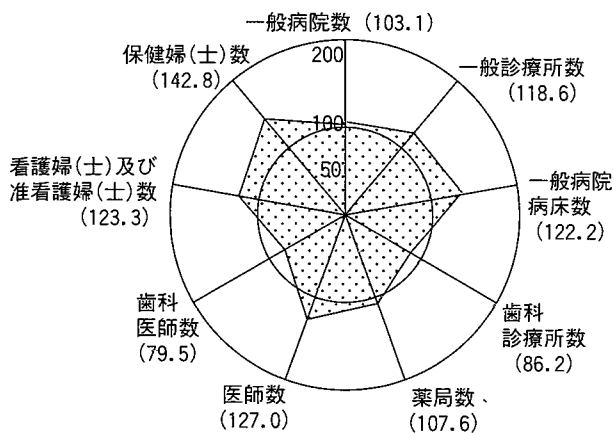


人口10万人当たりの医療体制

総務省統計局「統計でみる県のすがた2003」



(衛 生)

本県の医療水準は、人口10万人当たりで見ると、医師数、保健婦数などで全国水準を上回っています。

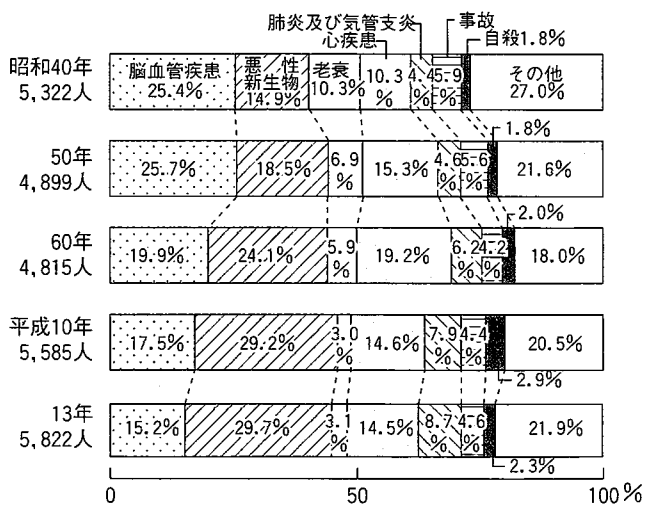
平成13年中の死亡数は5,822人で前年に比べ113人減少しています。内訳は、三大死因（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）で、全体の59.4%を占めています。

また、三大死因別死亡数の推移を見ると、悪性新生物は1,732人、心疾患は887人、脳血管疾患は846人となり、合計で123人の減少になりました。

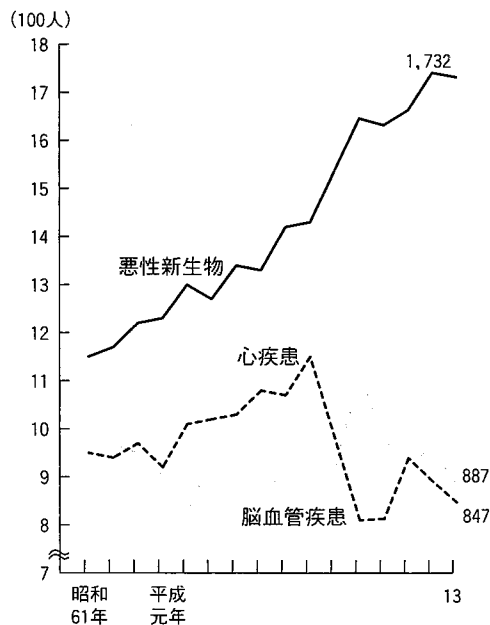
指 標 名	鳥取県	順位	全国	年次
平均 寿 命 (男)	77.39歳	31	72.71	12
平均 寿 命 (女)	84.91歳	16	84.62	12
医師数(人口10万人当たり)	243.3人	5	191.6	12
保健婦(士)数()	41.4人	10	29.0	12

死因別死亡数の割合

県福祉保健課



三大死因別死亡数の推移



単位：施設・床・所・人

医療施設等の状況

県医務薬事課

年 次	病院数	診療所	病 床 数		歯 科 診療所	薬 局	医 師	歯科医師	看護婦(士)及び准看護婦(士)	保健婦
			病 院	診 療 所						
平成 9 年	44	518	8,631	1,672	245	214	—	—	—	—
10	44	508	8,773	1,627	253	232	1,449	336	6,113	248
11	44	519	8,741	1,511	257	239	—	—	—	—
12	46	538	9,105	1,486	271	243	1,574	337	6,509	254
13	46	548	9,092	1,485	269	250	—	—	—	—

(注) 医師、歯科医師、看護婦(士)及び准看護婦(士)、保健婦については隔年調査